



Tobacity

市長定例記者会見



令和7年12月23日(火)



Contents

01

鳥羽市立海の博物館 特別展「ふのりと日本人」

02

鳥羽市立海の博物館展覧会
鳥羽ストーリーズ・アートプロジェクト 海女と芸術文化

03

加茂地区に放課後児童クラブ新設
施設名称は「放課後児童クラブどんぐり」に決定

04

地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル
事業防災リレー講座

05

鳥羽市の10大ニュース

01 鳥羽市立海の博物館 特別展 「ふのりと日本人～暮らしを繋ぎ、文化を繋ぐ海藻。～」の開催

1. 概要

○海女が採取する海藻「ふのり」が、古代より日本人の「糊」として広く活用されてきたことを紹介する特別展を開催します。近年では絵画などの文化財修復、相撲の「さがり」、陶器の絵付け、お城の漆喰などにも用いられ、「ふのりに変わるものはない」と言われています。その加工法や利用の歴史、さまざまな活用を紹介することで、「ふのり」の重要性について考えるきっかけになることを期待して開催いたします。

2. 日時

○令和7年12月20日(土)～令和8年3月31日(火)

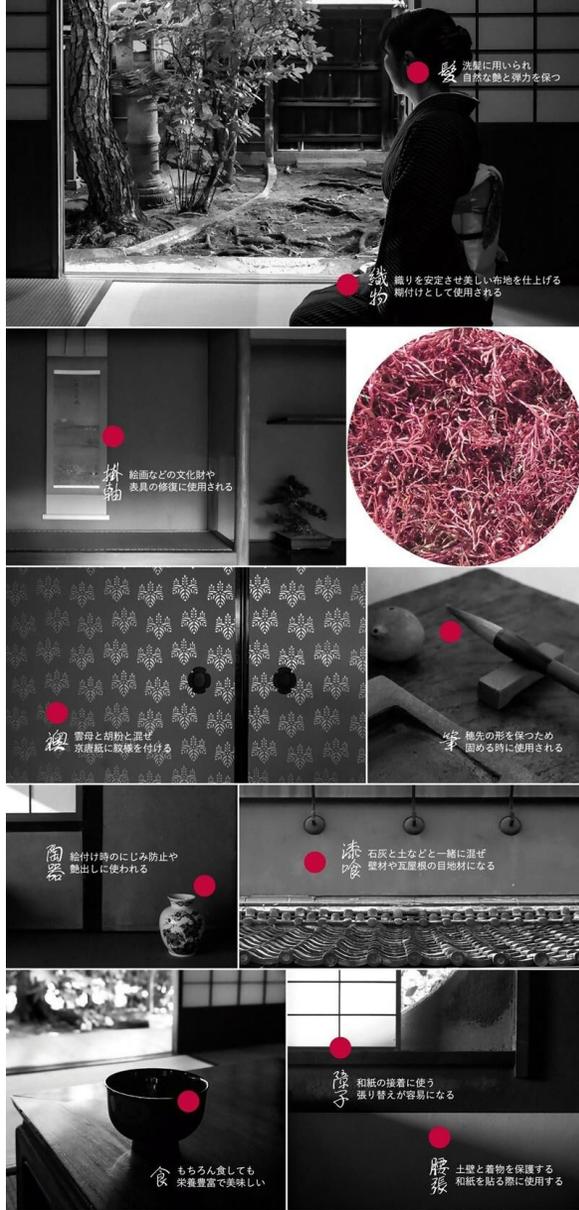
3. 場所

○鳥羽市立海の博物館 特別展示室(鳥羽市浦村町1731-68)

4. 関連行事

- ・令和8年1月25日 ミュージアムトーク
- ・令和8年1月7日 ふのり入り！海の七草粥お振る舞い
- ・令和8年2月28日 ふおりから糊を作ろう
- ・令和8年3月22日 ふのりと探しに海へ行こう
- ・展示期間中 café あらみにおいて展示期間限定メニュー提供





特別展

ふのり 日本人

FUNORI TO NIHONJIN

暮らしを繋ぎ、
文化を繋ぐ海藻。

休館日 12月26日⑤〜30日⑥
開館時間 9:00〜16:30 (3月以降 9:00〜17:00)
入館料 大人(18歳以上)800円 学生(小学生以下)400円

2025.12.20(土) → 2026.3.31(火)

漁村と海女文化を伝える
鳥羽市立 TOBA SEA-FOLK MUSEUM
海の博物館
umihaku.com
〒517-0025 三重県鳥羽市浦村町1731-68
お問い合わせ 0599-32-6006



撮影地: 旧長谷川治部兵衛家・原田二郎旧宅 助産: 第三加藤文化振興財団
協力: 株式会社大福風船商店・北村物産株式会社・伊勢丸いし水産株式会社・大豊和紙工業株式会社・小切間建設工業株式会社・角仙合同株式会社・旧長谷川治部兵衛家・松原もめん手織伝承グループクラブるる会・むらた表具店・だいまや・長野專業業協同組合・塩沢織物工業協同組合・公益財団法人日本相談協会相模博物館・一般社団法人神宮室修理職講師連盟・鈴鹿市文化振興課・京都市文化市民局元離宮二条城事務所・東京文化財研究所・奈良文化財研究所・文化庁文化財第一課



漁村と海女文化を伝える
鳥羽市立 TOBA SEA-FOLK MUSEUM
海の博物館
〒517-0025 三重県鳥羽市浦村町1731-68
お問い合わせ 0599-32-6006

umihaku.com

〒517-0025 三重県鳥羽市浦村町1731-68
お問い合わせ 0599-32-6006

入館料 大人(18歳以上)800円 学生(大学生以下)400円
駐車場 観光バス・乗用車ともに駐車できます
交通の 伊勢近鉄鳥羽駅より、パールロード経由、カモバスで 35分「海の博物館前」下車
※バスの本数が少ないため事前にお確かめください
伊勢自動車道・伊勢ICからパールロード経由約40分

暮らしを繋ぎ、文化を繋ぐ海藻。

特別展

ふのり 日本人

FUNORI TO NIHONJIN

海女などの漁村の人々が採集する海藻「ふのり」は、古代から食用だけでなく「糊」として日本人に広く活用されてきました。江戸時代の記録には、女性の髪の整え、布織物製作、難産時の滑胎、土蔵や壁の漆喰などにも使われていました。また和服の洗い張り、唐紙の製作、筆の穂先整え、大相撲の関取が付ける「さがり」などもふのりの糊が使われています。ここ30年前からは、掛け軸や絵画などの文化財修復にも用いられ「ふのりに代わるものはない」とまで言われています。また近年では、健康食品としてみそ汁の具材、海藻サラダなどでの人気も出てきました。

全国各地で行われていたふのりを加工して保存する伝統は、現在、伊勢市東大淀町内の二か所で行われているだけで、ふのり資源の減少や加工作業員の高齢化などの問題もあり、その存続が危ぶまれています。

ふのり利用の歴史とその多様性、加工法とその道具類、文化財修復の現状などを展示・紹介することで「ふのり」の加工技術とその利用に関心を寄せてもらい、加工業の存続の道を考えるきっかけになることを期待して企画しました。



1. 板ふのりと糊
2. 文化財修復 表うちの様子
3. 松隈木桶(糊付けされた縦糸)
4. さがり(写真は榎勢の里)
5. 現在の加工作業の様子
6. 昭和30年頃の加工作業の様子
7. 平城京出土木簡「布乃利(ふのり)」

ふのりイベント

- ① ミュージアムトーク
1/25日11:00、2/28日11:00、3/28日13:00
料金:無料(入館料別)
- ② ふのり入り!
海の七草粥お振る舞い
(無病息災を願って)
1/7日11:00
定員:先着100名
料金:無料(入館料別)
- ③ ふのりから糊を作ろう
2/28日13:00
定員:20名(要事前予約)
料金:500円(容器代込/入館料別)
- ④ ふのりを探しに海へ行こう
3/22日13:00
定員:20名(要事前予約)
料金:500円(入館料別)
協力:鳥羽磯部漁協浦村支所
- ⑤ cafeあらみ
展示期間限定メニュー
「ふのりを味わう海藻スープ」

02 鳥羽市立海の博物館 展覧会 「鳥羽ストーリーズ・アートプロジェクト「海女と芸術文化」」の開催

1. 概要

○昨年度に続き芸術文化などを学ぶ女子美術大学の学生と教員が本年10月に鳥羽市に滞在し、海女との交流や海女に関する調査等のフィールドワークを実施しました。その後、大学に戻ってから、制作した作品を展示します。また、フィールドワーク等で撮影した写真や学生・関係者による文章を掲載した冊子を出版し、海女文化やプロジェクトについて深く理解できるよう構成しています。

2. 日時

○令和8年1月24日(土)～令和8年3月22日(日)

3. 場所

○鳥羽市立海の博物館 ギャラリー棟(鳥羽市浦村町1731-68)

4. 関連行事

○展覧会の期間中、以下の通り行事を予定しています。

・令和8年1月24日(土)11～12時 オープニングイベント ・令和8年3月7日(土)13～14時 本の出版イベント



鳥羽ストーリーズ・アートプロジェクト 「海女と芸術文化」

女子美術大学の学生と教員による作品と文章の展覧会

2026年1/24(土) - 3/22(日)

鳥羽市立海の博物館 ギャラリー

Exhibition of Toba Stories Art Project:
Ama Divers, Art and Culture
Jan 24 [Sat] - Mar 22 [Sun], 2026
Toba Sea-Folk Museum Gallery, Japan



Photos: 1. Toba Sea-Folk Museum 2. ©hakubun.s

共催：鳥羽市立海の博物館、女子美術大学教員・共通専門研究室、国際芸術文化専攻研究室
協力：三重大学水産実験所、鳥羽市水産研究所、鳥羽市役所観光商工課、鳥羽観光産業協同組合 国崎支所
企画：キョウシヤン・リウダ・デニス(女子美術大学)
Co-Organization: Toba Sea-Folk Museum, Joshibi University of Art and Design
Cooperation: Mie University Fisheries Research Laboratory, Toba Fisheries Science Center, Toba City Hall Tourism, Commerce and Industry, Toba Isobe Fisheries Cooperative, Kuzaki Branch, Touch Base Creative Network
Planning and Curation: Linda Dennis (Joshibi University)

女子美術大学
JOSSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN
三重大学 TOUCH BASE
https://touch-base-create.net/

鳥羽市立海の博物館
TOBA SEA-FOLK MUSEUM

鳥羽ストーリーズ・アートプロジェクト 「海女と芸術文化」

女子美術大学の学生と教員による作品と文章の展覧会。

第5回目となる「鳥羽ストーリーズ・アートプロジェクト」は、アートの力を通して多くの人々が海女文化に触れることを目的としています。素潜りで漁をおこなう「あま」の起源は、2000年以上にさかのぼります。現在鳥羽市は日本一の海女の数を誇る地域ですが、近年海女の数の減少が進んでいます。そこで、私たちは、力強い女性が導き受け継いできた鳥羽の海女の伝統と、女子美術大学の学生をつなぐことで、インスピレーションを得るとともに、このプロジェクトを記録した展覧会と書籍を通して、より多くの人に海女文化について知っていただきたいと考えています。

展示作品は、芸術文化などを学ぶ女子美術大学の学生と教員が、2025年の10月に5日間、鳥羽市に滞在した際のフィールドワークから着想を得て制作されました。フィールドワークでは、海に関する調査をし、海女さんからお話を伺い、暮らしを直接体験し、鳥羽市立海の博物館、海女小屋や海士潜女神社がある国崎町の重要な場所も訪れてリサーチを行いました。

5日間の滞在を終え、大学に戻った後は、個人の作品制作と、国崎町の独自の海女文化を国内外に発信するための展覧会を作り上げるグループワークを行いました。

展覧会と書籍には、学生や関係者による文章を掲載し、海女の文化とプロジェクトについて、さらに深く理解できるように構成しました。



Photos: 1, 4. ©hakubun.s, 2, 3. Toba Sea-Folk Museum, 5. Ohno Aiko

展覧会出展者 Exhibitors
専攻：国際芸術文化、洋画、版画、ヴィジュアルデザイン
内田 健輔、王 静涵、尾崎 田、向 慶英子、高 悠佐、朱 穎、藤田 ひかる、宮坂 友菜、安山 未都、菊田 穂香、柴崎 結乃、武井 海衣菜、廣島 希泉、李 素敬、パク・エンズイ、リンダ・デニス(教員)
Majors: International Art and Culture, Painting, Printmaking, Visual Design
UCHIDA Kaho, WANG Jinghan, OWASHI Nagi, WU Qingyongzi, KO Jiwon, ZHU Xian, FUJITA Hikaru, MIYAO Yuna, YASUYAMA Miko, KIKUTA Honoka, SHIBAZAKI Yuno, TAKEI Mina, HIROSHIMA Nozomi, LEE Yumin, PAK Wansu, Linda DENNIS (Faculty)

1. 国崎の海女の風習(神事:ノット正月) Notto Shōgatsu Ritual 2. 伊勢志摩地方の風習 Seman Doman Talisman 3. 製灯船(のしあわび)作り Processing abalone for Noshi Awabi 4. 燈塔灯台 Yoroizaki Lighthouse 5. 国崎の海女小屋 Ama Hut in Kuzaki 6. 国崎の海女小屋 Ama Hut in Kuzaki 7. 学生プレゼン Student Presentations 8. 制作 Artwork Making

鳥羽市立海の博物館 ギャラリー
〒517-0025 三重県鳥羽市浦村町大志 1731-68
開館時間 9:00 - 16:30 (入館は開館の30分前まで)
入館料 大人 800円 大学生以下 400円
アクセス JR・近鉄「鳥羽駅」より、タクシー約20分/市営かもめバス約40分
問合せ 址: 0599-32-6006
海の博物館 <http://www.umihaku.com/>
Toba Sea-Folk Museum Gallery

Mie Prefecture, Japan
1731-68 Ogitsu, Uramura-cho, Toba City,
Mie Prefecture, Japan
Inquiries: TEL: 0599-32-6006
Access: Approx.20min. by taxi/
40min. by municipal Kamome bus from JR・Kintetsu Toba Stn.



関連イベント(予約不要)
★オープニング・イベント
2026年1月24日(土) 11:00-12:00
★本の出版イベント
2026年3月7日(土) 13:00-14:00

Related Events (No reservation required)
Opening Event: 11am - 12pm, Jan 24 (Sat), 2026
Book Launch Event: 1pm - 2pm, Mar 7 (Sat), 2026

この活動は、女子美術大学の「プロジェクトスタディーズ科目」と「芸術文化オープンゼミⅠ」の一環です。

03

“加茂地区に放課後児童クラブを新設” 施設名称は「放課後児童クラブどんぐり」に決定

1. 概要

○児童の居場所の確保及び次代を担う児童の健全な育成を図ることを目的に、加茂地区に放課後児童クラブを新設します。加茂小学校の隣にある旧岩倉老人憩の家(加茂連絡所が併設している建物)を改修し活用します。開所予定日は、令和8年4月1日です。また、当施設の名称について、鳥羽市立加茂小学校の全校児童(107人)に募集をし、応募数全21点の中から下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

2. 放課後児童クラブの名称と提案者

- どんぐり
- 加茂小学校 4年 橋本 仁衣奈(はしもと にいな)さん

3. 備考

- ・「放課後児童クラブどんぐり」として、令和8年4月1日に開所予定です。(施設定員:40人)
- ・令和8年度から、全放課後児童クラブ入所対象児童の学年を1～6年生に拡大します。

4. その他

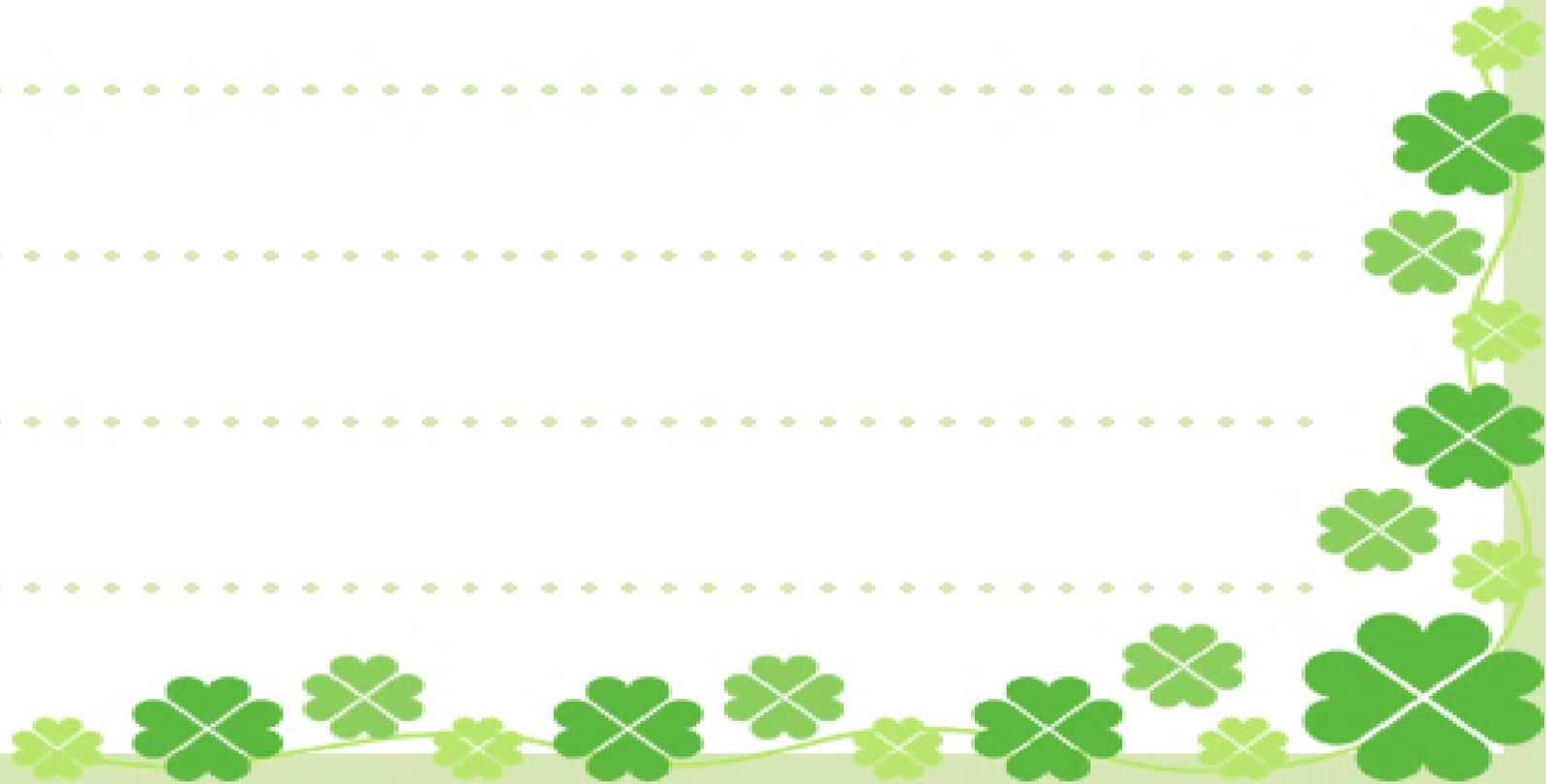
○<※放課後児童クラブとは>

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に適切な遊び及び生活の場を与えて、家庭、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、当該児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、その健全な育成を図ることを目的に設置する施設です。





A large white rectangular area with a light green border, containing six horizontal dotted lines for writing.



04 地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業防災リレー講座

1. 概要

○市では、特定非営利活動法人SEEDS Asiaと「地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業 防災リレー講座」を開催します。第6回は、「災害後の暮らしをみんなで支えるために-ケースマネジメントって何？(仮)-」と題した講演会です。本講座は、令和7年3月26日に特定非営利活動法人SEEDS Asiaと締結した「鳥羽市の地域と学校の連携による安全の推進に関する協定書」に基づくものであり、全12回開催を予定しており、今回は6回目になります。

2. 日時

○令和8年1月26日(月)15:00~16:45

3. 場所

○鳥羽市役所西庁舎4階

4. その他

○講師：江崎 太郎 氏
(特定非営利活動法人YNF 代表理事 日本災害復興学会 理事・復興支援委員会 委員長)

場所：鳥羽市役所西庁舎4階
大会議室（オンライン参加も可）
<https://forms.gle/WAKPJatc5Cj1zPmZA>



申し込みは裏面の連絡先、あるいは左の二次元コードからお申し込みください

二次元コードからPC、スマホでもお申し込みいただけます

講師プロフィール

早稲田大学法学部卒。特定非営利活動法人YNF代表理事。日本災害復興学会理事・復興支援委員会委員長。2017年のYNF設立以降、九州北部豪雨、西日本豪雨、令和2年7月豪雨、能登半島地震など、多様な被災地で一人ひとりに合わせた生活再建支援に取り組む。被災者の「住まい」「暮らし」「仕事」を分けて考えず、住まいの再建支援や相談支援を通じて、中長期で伴走する支援モデルを実践。自治体や社会福祉法人、弁護士・建築士、医療・福祉専門職らと協働し、制度の狭間や既存の枠組みからこぼれ落ちる人を支える仕組みづくりに挑戦している。近年は、内閣府による「災害ケースマネジメント実施体制整備モデル事業」の一環として伊勢市での研修も実施。

【主催】認定NPO法人 SEEDS Asia
【共催】鳥羽市 鳥羽市教育委員会



—防災で未来をつくる—

地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業 防災リレー講座

第6回 災害後の暮らしをみんなで支えるために —ケースマネジメントって何？ (仮) —

えざき たろう

講師：江崎 太郎 先生

特定非営利活動法人 YNF 代表理事
日本災害復興学会 理事・復興支援委員会 委員長

令和8年 1月26日 (月)

15:00~16:45

場所：鳥羽市役所西庁舎4階

大会議室 (オンライン参加も可)

<https://forms.gle/WAKP3atc5Cj1zPmZA>



二次元コードからPC、スマホでもお申し込みいただけます

申し込みは裏面の連絡先、あるいは左の二次元コードからお申し込みください

講師プロフィール

早稲田大学法学部卒。特定非営利活動法人 YNF 代表理事、日本災害復興学会理事・復興支援委員会委員長。2017年の YNF 設立以降、九州北部豪雨、西日本豪雨、令和2年7月豪雨、能登半島地震など、多様な被災地で一人ひとりに合わせた生活再建支援に取り組む。被災者の「住まい」「暮らし」「仕事」を分けて考えず、住まいの再建支援や相談支援を通じて、中長期で伴走する支援モデルを実践。自治体や社会福祉法人、弁護士・建築士、医療・福祉専門職らと協働し、制度の狭間や既存の枠組みからこぼれ落ちる人を支える仕組みづくりに挑戦している。近年は、内閣府による「災害ケースマネジメント実施体制整備モデル事業」の一環として伊勢市での研修も実施。



【主催】認定NPO法人 SEEDS Asia
【共催】鳥羽市 鳥羽市教育委員会



■開催趣旨

近年、自然災害の激甚化・頻発化に加え、子どもたちを取り巻く事件や事故も多発しています。こうした多様なリスクの中で、子どもの安全・安心を守り、そして「ここで暮らし続けたい」という想いをどう育むか—それは、地域の未来をどう築いていくかという問いでもあります。

第6回は災害後の暮らしに焦点をあて、被災後の生活環境や支援の実態を学びます。また、災害後の生活支援において重要な、学校・地域・行政・福祉などの多機関連携による「ケースマネジメント」の基本を理解することで、平常時からの連携の在り方について皆さんと一緒に考える機会とします。

■プログラム (予定)

第6回：令和8年1月26日 (月) 15:00~16:45 (質疑応答含む)

14:30 開場 (オンラインは14:50開場)

15:00 開始・趣旨説明

15:05 専門家によるご講義

16:05 小休憩

16:10 会場からの質疑応答・次回のリレー講座案内など

16:45 閉会

※駐車スペースが限られております。
乗り合いでのご来場にご協力ください。

■場所：鳥羽市役所西庁舎4階 大会議室 + オンライン(ZOOM)

■参加費：無料

■連絡先・申し込み方法 1月24日 (土) 〆切

※スマホ・タブレット端末をお持ちの方は、二次元コードから参加申し込みをお願いします
右の二次元コードから (どなたでも)

※二次元コード以外の参加申し込みの場合は、お電話・メールで受け付けます

<電話の場合>

鳥羽市教育委員会 学校教育課

☎ 1 2 6 5 (電話でお申し込み希望の学校関係者のみ)

鳥羽市 総務課 防災危機管理室

☎ 1 1 1 8 (電話でお申し込み希望の市民の方)

<メールの場合>

SEEDS Asia鳥羽プロジェクトオフィス

Eメール：mitsuko.otsuyama@seedsasia.orgまで



二次元コードからタブレット端末・スマホでお申し込みいただけます

本講座は、鳥羽市と認定NPO法人 SEEDS Asia が総括した「地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業」に基づく共同事業の一環として実施し、一般財団法人日本民間公益活動連携機構および「ジャパン・プラットフォーム」による支援を受けています。



【主催】認定NPO法人 SEEDS Asia
【共催】鳥羽市 鳥羽市教育委員会



05 2025年 鳥羽市の10大ニュース

- 1 学校給食無償化
- 2 大型クルーズ客船の寄港回数が過去最多
- 3 県内初「宿泊税」の条例制定と新設の総務大臣同意
- 4 新市政がスタートモチベーション係も始動
- 5 鳥羽出身者が大活躍
- 6 NHK「歴史探偵」で九鬼水軍が特集される
- 7 ミジュマル公園開園
- 8 フランスとの交流が加速
- 9 カムチャツカ半島沖地震による津波の牡蠣養殖被害
- 10 天皇皇后両陛下が鳥羽市をご訪問

① 学校給食無償化



② 大型クルーズ客船の寄港回数が過去最多



③ 県内初「宿泊税」の条例制定と新設の総務大臣同意

 鳥羽市に宿泊されるみなさまへ

To All Visitors Who Will Stay Overnight in Toba City

2026年4月1日～宿泊税スタート

とぼし
鳥羽市

宿泊税の ご案内

Information Regarding the Accommodation Tax

Starting from April 1, 2026, Toba City will introduce an accommodation tax.

致在鳥羽市住宿的遊客 住宿稅指南 自2026年4月1日起開始徵收住宿稅

鳥羽市を訪れるみなさまにとって、鳥羽市での滞在が
快適で素晴らしいものになるよう宿泊税を活用していきます。

We will make effective use of the accommodation tax to ensure that everyone visiting Toba City has a comfortable and wonderful stay.

為了讓來訪鳥羽市的每位旅客都能擁有舒適且美好的住宿體驗，我們將善用住宿稅。

④ “新市政がスタート” モチベーション係も始動



⑤ 鳥羽出身者が大活躍



© (公社) 日本フェンシング協会



© Kotone Narikuni

⑥ NHK「歴史探偵」で九鬼水軍が特集される



⑦ ミジュマル公園開園



⑧ フランスとの交流が加速



⑨ カムチャツカ半島沖地震による津波の牡蠣養殖被害



⑩ 天皇皇后両陛下が鳥羽市をご訪問





A large white rectangular area containing six horizontal dotted lines, serving as a writing template.

